



## HTTPS/SSL Web サーバの設定

---

この付録では、HTTPS/SSL Web サーバを適切に設定して、WTOS ゼロ クライアントを管理およびアップグレードする方法を示します。

### SSL 機能を持つ初期 Windows 2003 Server または Windows XP SP2 の作成

この手順を使用して、SSL 機能を持つ初期 Windows 2003 Server または Windows XP SP2 を作成します。これらの手順は、Web サーバが SSL を使用するように設定されていないことを前提にしています。

#### 手順

---

- ステップ 1** IIS 6.0 Resource Kit をダウンロードします。
  - ステップ 2** インストーラを起動します。
  - ステップ 3** インストーラの実行中に、インストール タイプとして [custom]、および [install only the SelfSSL component] を選択します。
  - ステップ 4** [Start] > [Programs] > [IIS Resources] > [SelfSSL] > [SelfSSL] を選択します。DOS シェルが起動します。
  - ステップ 5** 次のステートメントを入力します。コンピュータ名 (CN) は実際のサーバ名に置き換えてください。  

```
selfssl.exe /N:CN=SERVERNAME /K:1024 /V:7 /S:1 /P:443 /T
```

インストールが正常に完了すると、「The self-signed certificate was successfully assigned to site 1」というメッセージが表示されます。
  - ステップ 6** この手順では、設定済みの既存の IIS Web サイトを再設定できます。詳細オプションについては、次のように入力して SelfSSL のヘルプを参照してください。  

```
Selfssl.exe -h
```
-

# Windows 2003 または Windows 2008 Web サーバの設定

## 前提条件

IIS と SSL が適切に設定された Windows 2003 Server、および Windows 2008 R2 が必要です。

## Web サーバの MIME タイプの設定

Web サーバは、シスコで使用されるファイルタイプを識別する必要があります。ファイルを識別するには、IIS に 2 つの MIME タイプを作成します。MIME は、各サイト単位で設定する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** デフォルトの IIS インストール環境で、IIS 管理コンソールを起動します。
  - ステップ 2** [Default Web Site] に移動し、右クリックして [properties] を選択します。
  - ステップ 3** [HTTP Headers] タブを選択し、MIME マップ セクション下で [File Types] を選択した後、[New Type] を選択します。
  - ステップ 4** 次の表に示す、2 つの MIME タイプを追加します。対応する拡張子フィールドに「.INI」と「.」を使用します。

**表 D-1** MIME タイプ ウィンドウのパラメータ

対応する拡張子	コンテンツタイプ (MIME)
.ini	text/plain
.	text/plain

- ステップ 5** 設定を適用して、IIS 管理コンソールを閉じます。
- 

## Web サーバのディレクトリ構造の設定

### 手順

- 
- ステップ 1** IIS をインストールすると、デフォルトのディレクトリ C:\inetpub\WWWroot が作成されます。このフォルダ内に次のディレクトリ構造を作成します。  
C:\inetpub\wwwroot\cisco\wnos
  - ステップ 2** WTOS ファームウェアと .INI ファイルを WNOWS ディレクトリに配置します。
-

# HTTPS サーバへのクライアントの割り当て

次のいずれかの手順を使用して、WTOS シン コンピューティング デバイスを正しい HTTPS サーバに割り当てます。

## HTTPS サーバへのクライアントの割り当て：方法 1

この方法では、WTOS デバイス上でファイル サーバとパスを手動で入力します。

### 手順

---

**ステップ 1** [Desktop] > [System Setup] > [Network] > [File Servers/Pat] を選択します。

**ステップ 2** 次の情報を入力します。

`https://IPADDRESS/cisco`

---

## HTTPS サーバへのクライアントの割り当て：方法 2

2 番目の方法では、DHCP オプション タグ 161 および 162 を使用して、WTOS シン コンピューティング デバイスにファイル サーバおよびパス情報を割り当てます。

「[DHCP \(DHCP オプション\) の設定](#) (P.A-10) の説明に従って、161 タグと 162 タグを設定します。

■ HTTPS サーバへのクライアントの割り当て